

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年1月12日(2022.1.12)

【公開番号】特開2021-128116(P2021-128116A)

【公開日】令和3年9月2日(2021.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-041

【出願番号】特願2020-24168(P2020-24168)

【国際特許分類】

G 0 1 S 7/497(2006.01)

G 0 1 S 13/89(2006.01)

G 0 1 S 17/89(2020.01)

G 0 1 S 7/40(2006.01)

10

【F I】

G 0 1 S 7/497

G 0 1 S 13/89

G 0 1 S 17/89

G 0 1 S 7/40

【手続補正書】

20

【提出日】令和3年12月28日(2021.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車載用の計測装置ユニット(10)であって、

予め定められた検出領域をそれぞれが有する複数の検出器(30)とそれぞれ接続されている複数の検出器入力部(203)と、

30

車両内に配置されている車両制御装置と接続されている出力部(204)と、

計測時および非計測時、または、正常時および非正常時において、前記複数の検出器のうち複数の任意の検出器の間における重複検出領域を動的に設定する重複検出領域設定部(201)と、

設定された前記重複検出領域に応じて、前記複数の検出器入力部を介して前記複数の検出器から入力される前記検出領域に対応する検出データを用いて統合データを生成して前記出力部を介して出力する統合データ生成部(200)と、

を備えるデータ処理装置(21)、

を備える車載用の計測装置ユニット。

40

【請求項2】

請求項1に記載の計測装置ユニットにおいて、

前記重複検出領域設定部は、計測時には計測時重複検出領域を設定し、診断時または較正時には前記計測時重複検出領域よりも大きな非計測時重複検出領域を設定し、

前記統合データ生成部は、隣接する前記複数の任意の検出器の少なくともいずれか一つの検出データから前記重複検出領域の少なくとも一部に対応する検出データを削除することによって計測時重複検出領域を実現し、前記複数の任意の検出器の検出データにおける前記重複検出領域に対応する検出データを維持することによって非計測時重複検出領域を実現する、計測装置ユニット。

【請求項3】

50

請求項 1 に記載の計測装置ユニットにおいて、

前記重複検出領域設定部は、計測時には計測時重複検出領域を設定し、診断時または較正時には前記計測時重複検出領域よりも大きな非計測時重複検出領域を設定し、前記統合データ生成部は、診断時または較正時には、前記複数の任意の検出器の少なくともいずれか一つの物理的な検出領域を、計測時における検出領域よりも拡大させることによって前記非計測時重複検出領域を実現する、計測装置ユニット。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の計測装置ユニットにおいて、

前記重複検出領域の大きさは、前記統合データ生成部と前記制御装置との間における通信帯域によって規定され、前記統合データ生成部は、動的に変更された前記重複検出領域に応じて、前記統合データに占める前記複数の任意の検出器からの各検出データの割合を動的に変更する、計測装置ユニット。

10

【請求項 5】

請求項 2 から 4 のいずれか一項に記載の計測装置ユニットにおいて、

前記任意の検出器からの検出データのうち、前記非計測時重複検出領域に対応する検出データは、診断または較正の実行に用いられる、計測装置ユニット。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の計測装置ユニットにおいて、

前記重複検出領域設定部は、正常時には計測時重複検出領域を設定し、前記複数の任意の検出器のいずれか一つが故障している故障時には前記複数の任意の検出器の他の検出器の検出領域を拡大して故障していると判断された検出器の検出領域を補う故障時重複検出領域を設定し、

20

前記統合データ生成部は、前記複数の任意の検出器の検出データから正常時クリッピングデータを削除することによって計測時重複検出領域を実現し、前記複数の任意の検出器の検出データにおける前記正常時クリッピングデータを維持することによって故障時重複検出領域を実現する、計測装置ユニット。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の計測装置ユニットはさらに、

予め定められた検出領域をそれぞれが有する前記複数の検出器を備える、計測装置ユニット。

30

【請求項 8】

車載用の計測装置ユニットにおける統合データ生成方法であって、

予め定められた検出領域をそれぞれ有する複数の検出器から検出データを受信し、計測時および非計測時、または、正常時および非正常時において、前記複数の検出器のうち複数の任意の検出器の間における重複検出領域を動的に設定し、

設定された前記重複検出領域に応じて、前記複数の検出器からの検出データを用いて統合データを生成し、

車両内に配置されている制御装置に対して送信する、統合データ生成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

第 1 の態様は、車載用の計測装置ユニットを提供する。第 1 の態様に係る車載用の計測装置ユニットは、予め定められた検出領域をそれぞれが有する複数の検出器とそれぞれ接続されている複数の入力部と、車両内に配置されている車両制御装置と接続されている出力部と、計測時および非計測時、または、正常時および非正常時において、前記複数の検出器のうち複数の任意の検出器の間における重複検出領域を動的に設定する重複検出領域設定部と、設定された前記重複検出領域に応じて、前記複数の入力部を介して前記複数の検

50

出器から入力される前記検出領域に対応する検出データを用いて統合データを生成して前記出力部を介して出力する統合データ生成部と、を備えるデータ処理装置、を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第2の態様は、車載用の計測装置ユニットにおける統合データ生成方法を提供する。第2の態様に係る統合データ生成方法は、予め定められた検出領域をそれぞれ有する複数の検出器から検出データを受信し、計測時および非計測時、または、正常時および非正常時において、前記複数の検出器のうち複数の任意の検出器の間における重複検出領域を動的に設定し、設定された前記重複検出領域に応じて、前記複数の検出器からの検出データを用いて統合データを生成し、車両内に配置されている制御装置に対して送信することを備える。

10

20

30

40

50